

市民のみなさんに
市長が伝えるコラム

希望の風 July

下関市長の部屋

「希望の街」 実現への第一歩

こんにちは。市長の前田晋太郎です。市議会第2回定例会(6月議会)も終わりのよいよ「希望の街」実現に向けた政策アクションプランを実行に移していきます。

6月議会では、市議会第1回定例会で可決された「骨格予算」に対する「肉付け予算」、いわゆる政策的な予算の追加を行いました。しかし、本市の財政状況は大変厳しく、市が独自にやりたいことをやっていくための裁量の幅が極めて少ない状況です。このため、基金を取り崩して国・県の補助と絡めながら各種事業に取り組みざるを得ません。

そこで、この夏にはさまざまな事業や市役所の将来規模、補助対象事業を見直



第2回定例会で施政方針を述べる前田市長(6月8日)

未していくプロジェクトチームを立ち上げ、集中改革を行います。来の子どもたちに、我々大人の「付け」を回すわけにはいきません。

これからの下関市にとって本当に大切なものは何か。無駄は無いのか。市役所を含めた行政の規模は適正か。「便利」と「せい」は紙一重だと考えます。そして、人は悲しいかな「慣れ」してしまう生き物です。昔はありがたかったことが、今は当たり前になってしまっていないか。そして、本当に苦しみ困っている人たちへ光を当てていくことができる、声の大きさととらわれない政治的判断を、勇気を持って行っていきたいと思います。この素晴らしい下関というまちを、これからも未来永劫輝かせていけるよう、全力で取り組んでいきます。

まち協 通信 吉見地区 まちづくり協議会

このコーナーは、各地で「住民自治によるまちづくり」に取り組む「まちづくり協議会」が作成しています。特色のある活動や取り組みなどについて紹介します。

「二つの大きな特色」蓋井島と「海上自衛隊、水産大学校」

平成27年11月4日、市内で3番目に設立した吉見地区まちづくり協議会には、2つの特色があります。1つは蓋井島という有人離島があること、もう1つは海上自衛隊下関基地隊と水産大学校が地区内に存在していることです。



金比羅山(蓋井島)からの眺め

蓋井島の金比羅山は昨年、公益財団法人日本離島センターが選定する「しま山百選」に選ばれました。これをきっかけに、島民がより協力して公園や遊歩道などの整備をしています。



吉見地区夏まつり(平成28年8月)

海上自衛隊下関基地隊の皆さんには、秋に行う合同避難訓練で中心的な役割を担っていただいています。「ホテル祭り」や「夏まつり」では、水産大学校生も先生方の協力の下、中学生や地域の人たちとふれあいながら活動しています。

各地区それぞれでできることから「ここと」

「できるところから少しずつ」との思いから、まず吉見駅を中心とした花いっぱい運動を行いました。今ではボランティアスタッフも少しずつ増え、毎月一回の定期的な活動をしています。駅を利用する人からも「きれいな花をありがとう」などと声を掛けてもらえるようになりました。

永田地区では、永田塩田跡地の歴史を後世に伝えたいとの思いから「吉見の塩田物語」を発刊しました。これもマスコミに取り上げてもらい、思わぬ反響を呼びました。



毘沙ノ鼻公園の干支除幕式(平成28年12月)

今でも他地区の方から、問い合わせをいただくことがあります。吉母地区は、エリア全体が一つの部会として機能しています。自治会の全面的な協力で、本州最西端の毘沙ノ鼻公園を中心とした観光力をアピールしています。

小さな活動は少しずつ形になってきています。しかし、協議会を立ち上げる時にもっと突っ込んだ意見を戦わせなかつたためか、町全体を大きくデザインするというような案はなかなか前に進みません。それでも前に進むため、前向きな意見はすぐ採用し、スタッフが自主的に活動でき、多くの地域の人たちが新しいスタッフとして協議会に参加できるよう、頑張っ

【協議会情報】
○吉見地区まちづくり協議会(吉見中学校エリア) △会長 梅尾俊行 △事務所 吉見下1533番地(吉見公民館内) ☎250-0756 △ホームページ <http://yoshimilomo.jp>